

皇學館高等学校の意義と役割（スクール・ミッション）

建学の精神 神宮祭主本館総裁 賀陽宮邦憲王から明治33年2月18日に賜った令旨以降、立館の本旨、建学の趣旨・精神・使命として奉戴

皇學館高等学校は、このような生徒を育みます（育成を目指す資質・能力に関する方針）

建学の精神のもと「清明正直」な資質をそなえ、社会に貢献する高い志を有した人材を育みます。

皇學館高等学校は、このような学びを行います（教育課程の編成及び実施に関する方針）

建学の精神を体現するための学びを進めます。

- （１）我が国の歴史と伝統の基盤をなす神道を深く学ぶ学びを進めます。
- （２）悠久な我が国の歴史と伝統を国際社会においても発信できる語学力を基盤とするグローバル感覚の育成につながる学びを進めます。
- （３）思考力や判断力、発信力を育むための知識習得と主体的な活動を基盤とした学びを進めます。
- （４）自らの将来を切り拓くキャリア形成の基盤となるDXなどの学びを進めます。
- （５）（１）～（４）の学びを通して自らの進路実現に必要な力を育成する学びを進めます。

皇學館高等学校は、このような生徒を求めます（入学者の受け入れに関する方針）

- （１）我が国の歴史や伝統に興味や関心を有し、さまざまな課題に向き合い、他者と協働しながら学びを深め、社会に貢献しようとする生徒を求めます。
- （２）自己の可能性を最大限に発揮し、国内外で社会に貢献しようとする意欲と人を思いやる心をもって行動できる生徒を求めます。
- （３）将来、皇學館大学での専門的な学びを通して、社会に貢献したいとの意欲を有する生徒を求めます。